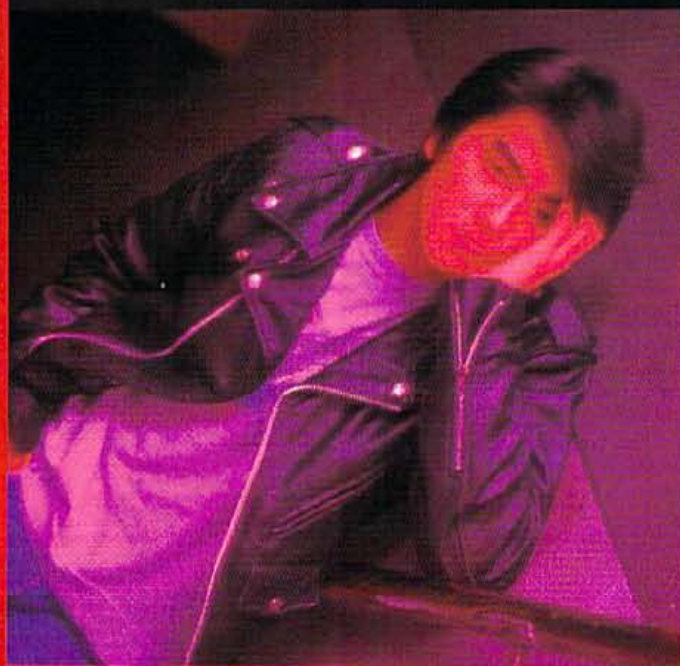


# WATCH the NEWS

## 原田龍二 INTERVIEW

半永久的誤解も踏まえ、  
それでも表現してゆく。

取材・文 早川加奈子  
写真 中嶋雄文  
協力 トリプルA  
日本フォノグラム



「愛憎の嵐」より原田龍二  
日本フォノグラム

「トレンディ・ドラマ」キライじゃないぜア」「彼女の嫌いな彼女」「イェーロウカーブ」の出演で人気上昇中の原田龍二はロックシンガーでも、ある4月にアルバム「誤解の類」でデビューした彼は、全11曲中9曲の作詞を手掛けている。どこか周囲に冷めぬない

原田龍二の二周年。昨年末のライヴが彼にとっての音楽活動の始まりだったという。俳優としての印象が強いがその人間味あるパフォーマンスを表現するための一つの手段としての彼のロックシンガー活動はまた始まったばかりだ。

「バムとストリート」もロック。でもまあね「ええ、作曲はほとんどギターの人を雇ってですけど、彼が俺にそういうフレーズを感したんじゃないですか、自分にあるかどうかはわからないんですけど、俺は単にロックスン・ロールが好きだし、っていうだけで」

「歌詞をみてもなかなかリテンションが薄いですよね。そこまで自分を高揚させるのは大変なこと？」  
「そのためには勉強してあげないといけないけど自然に思いつくんでそれが同じに出てくるんじゃないですかね」

「モーターショー」原田龍二は「構案中であっさりですね」「フム、そうですね、自分なりの世界を作り上げられたいと思いますけど、表現者としてわかってもらうにはまだまだかな」といふことだ。

「自然体の自分が反映される」としてのことですか？」

「悲観的にはなってますけれども、どうしても半永久的にわかってもらえないというのを欲まえつつ、それでもわかってもらえようように表現しているんじゃないですかね」

「自分の手帳、必ず見せてくれますね。調はほとんど原田さんの件で、曲作りには参加しなかったのは、どの部分にしてもスベキ技けていものだとはまた感づいてないし、ただ自分で書いたものだから、捨ててないのではありませんけど、ただ自分の中からも出てくるもの表現の仕方、そのうのかわかんないかな、まだ調を聞くことすらもままならない状態だと思ってます」

「原田さんで、彼の多くの人よりもいい加減な口が好まじやないって言うところがあると思っただけです」「いい加減な口分も、他の多くの人よりもありますよ、欠陥人間ですから」

「俳優のイメージが先行してですが、その辺のイメージはもういらないと、シン・とそ望んでます」

「それは非常に同感です、余計な部分がありますし、言っていてわかってもらえるかわかりませんが、俺は自分でも人間と思ってますし、そうやって「人」として歌わないし、宗教を断りますよ」

「俳優のイメージが先行してですが、その辺のイメージはもういらないと、シン・とそ望んでます」

「俺は非常にリリクスなタイプですが、僕はロックシン・デイズに入るとは思いません、俺も書き始めてますし、アーティストは原田も同様に書きました」

「世のよきな感じ地の世さる、ストリートに、マクドナルドに、追いつめようように表現していく彼の詞の世界、それがリアルなロックのサウンドと相俟って、リスナーの心に、具に届いていく。ドラマやCMで目に届いた、やがてイメージとは一味も二味も違ふ」

「俳優のイメージが先行してですが、その辺のイメージはもういらないと、シン・とそ望んでます」

「俺は非常にリリクスなタイプですが、僕はロックシン・デイズに入るとは思いません、俺も書き始めてますし、アーティストは原田も同様に書きました」

取材・文 早川加奈子  
協力 グレイテスト・ヒッツ  
日本コロムビア



「Les 5-4-3-2-1」のジャケット写真  
「Les 5-4-3-2-1」のジャケット写真  
「Les 5-4-3-2-1」のジャケット写真

# LES5-4-3-2-1 INTERVIEW

フレンチでサイケな、  
90年代ラヴ・サウンド。

東京をフレンチ・ロック・ユニット、  
Les 5-4-3-2-1 (レフ・ファイヴ・  
オー・スリー・トウ・ワン) と読む。通称  
レ・ファイヴ。が1993年アルバム「u  
n」(アン)に続き「deux」(トゥ)を  
リリース。ネオGの核バンドファ  
ントムギフトのベーンストだったサリ  
ー久保田と90年代のフランス・ギャル  
ヒトミが作るユニットで革新的なポッ  
プ・ビートの世界について2人にイン  
タビュー。

「un」に続き「deux」もミニ  
アルバム、という趣意はア  
ルバム、2枚1組というものが作り  
たかっただけですね。あと6日をおモチ  
ヤ感覚でカンジで買って欲しいなっ  
ていうところもあって、例えば女の子  
って小さなアクセサリーや小物をパツ  
と買っちゃったりしますよね。衝動買  
いとかが、そういうカンジで、誰かじゃ  
なくてミニアルバムなんだけど、面白  
そうなのがあるな、という風に手に取

り易く買ってもらえればいいなって思  
ったんですよ。  
—— サバービアの橋本さんが「最近の  
若い女の子は雑貨を買ったり洋服を違  
ぶような感覚でレコードを買ったりだ  
つておっしゃってましたが、それに近  
いかもしませんか。それにサバービ  
アのセレクトする音楽とレ・ファイヴ  
の音楽が重なる部分もあるし、例えは  
フランス・ギャルだと1人でカバーさ  
れてましたからね。

久保田「そうですね。バックボーンが  
かなり違うってのがありますが(笑)」  
—— レ・ファイヴの原点は、ブリテイ  
ッシュ・ビートをフレンチ・ポップス  
でくるむってことですよね。  
久保田「そう、そう、それがR  
&Bであったり60年代、スペインサー  
でもフレッドマンでも何でもいいんです  
けど、僕がアレンジするとどうしても  
ビートっぽくなっちゃうところがある」  
—— その中でもフレンチを思い付いた  
のは？かたてからの構想だったか？  
久保田「ファントムの頃から女の子の  
V.O.でずーっとやりたかったんですよ、  
基本的に、バンドやってると4人なら  
4人の限界があるじゃないですか。で  
ある程度行きついたらやめたというか、  
やれる範囲も見えない境界線があつて  
ても女の子と2人でユニットみたくな  
ら、色んなコトができるじゃないか、  
と、女の子のV.Oの方が色んなジャン  
ルのタイプを試せるかなと思ってね」  
—— 多くのガールズV.O.の中でもフレ  
ンチを選んだのはどうしてですか。  
久保田「英詞の歌はいいはあるじゃ  
ない、てなカンジですね。そもそも2年  
位前に、ピチカートの小西さんのFM  
番組でギャルの「ジャズな心」のカバ  
ーを録音したのがきっかけでレ・ファ  
イヴが誕生したんですね。その時は全  
部日本語に訳そうかなと思っただけ  
で、英語の歌を半分訳したり、そのま  
ま英語で歌うっていうのは結構ありま  
すよね。コニー・フランシスや平尾正  
景の頃から、ただでフランス語の歌は

全部訳すでしょ、越語歌謡の時代から、  
で、フランス語半分位残しちゃおうと  
思ってたのと同じだったんですね。  
その時のフランス語の響きが面白くて、  
このまま押し通しちゃおうかな、平た  
く言うところのままグルーヴにしちゃえ  
と想ったんですよ」  
—— ところで「un」と「deux」で  
は歌い方がかなり違ってますよね。  
ヒトミ「作詞家が違つて調の中の内  
容もすごく違うんですよ。「アン」の方  
は「ア・ウイ・ボンボン」みたいな言  
葉遊び的なものがあつたので、可愛く  
ポップに歌ってみましたけど、「de  
ux」の方には詞をみると内容がポツと  
ちやちやうなるものなので平然と歌っ  
ちゃうと全然違つてしまふんじゃないか  
というところで、ちょっと表情をつけて  
みたというカンジです」

近頃は各デジックな危ない詞もあり  
ますね(笑)。2枚1組のミニアルバ  
ム「un」「deux」とくれば次は「t  
rois」(トロワ)!!  
ヒトミ「皆思ってますよね(笑)」  
久保田「どっさり歌います「trois」では  
ないんですけどね。実は今度が本当の  
1日アルバムになるんですね。内容は  
ダンスパーティー御用達というか「u  
n」の中の「ダンス専科」が12曲ある  
ようなカンジ。歌としてはやはりフレ  
ンチ歌謡的なものになってくるんです  
けど、音的にはプーガルもいやR&  
Bやソウルっぽいものも諸々入れてやろ  
うかな、と「タメ(笑)？もちろんメロ  
ディ・アスなものもありますから」

全部訳すでしょ、越語歌謡の時代から、  
で、フランス語半分位残しちゃおうと  
思ってたのと同じだったんですね。  
その時のフランス語の響きが面白くて、  
このまま押し通しちゃおうかな、平た  
く言うところのままグルーヴにしちゃえ  
と想ったんですよ」  
—— ところで「un」と「deux」で  
は歌い方がかなり違ってますよね。  
ヒトミ「作詞家が違つて調の中の内  
容もすごく違うんですよ。「アン」の方  
は「ア・ウイ・ボンボン」みたいな言  
葉遊び的なものがあつたので、可愛く  
ポップに歌ってみましたけど、「de  
ux」の方には詞をみると内容がポツと  
ちやちやうなるものなので平然と歌っ  
ちゃうと全然違つてしまふんじゃないか  
というところで、ちょっと表情をつけて  
みたというカンジです」

近頃は各デジックな危ない詞もあり  
ますね(笑)。2枚1組のミニアルバ  
ム「un」「deux」とくれば次は「t  
rois」(トロワ)!!  
ヒトミ「皆思ってますよね(笑)」  
久保田「どっさり歌います「trois」では  
ないんですけどね。実は今度が本当の  
1日アルバムになるんですね。内容は  
ダンスパーティー御用達というか「u  
n」の中の「ダンス専科」が12曲ある  
ようなカンジ。歌としてはやはりフレ  
ンチ歌謡的なものになってくるんです  
けど、音的にはプーガルもいやR&  
Bやソウルっぽいものも諸々入れてやろ  
うかな、と「タメ(笑)？もちろんメロ  
ディ・アスなものもありますから」

# ミック・ジャガーの真実。

今世紀最後のカリスマ、ジャガー。ついに明かされる、その自由奔放なヒストリー。



1950年代にロックンロールが聲を上げ、若者の思想と結びついてフラウームーブメントなる大きな文化を創造した60年代。アメリカで起こったカウンターカルチャーの渦中に、音楽は時代の落とし子ともいえるロックの巨人たちを次々とこの世に生みだしてきた。

その後、音楽が商業主義に走る70年代から80年代、そして手探りの90年代に至るまでに、ジャニス・ジョプリン、ジム・モリソン、マーク・ボラン、ジミ・ヘンドリックス、ジョン・レノン、偉大なるアーティストのほとんどが死というエンドマークによってその歴史を閉じ、今は魂のみ伝説となつて存在するのに対して、生きながら自らを伝説化してゆく男がいる。ミック・ジャガーそのひとである。

「彼はどこから見てもオリジナルであり、われわれの時代の重要なカルチャーの担い手のひとりである。」そう語るのはクリストファー・アンダーセン。昨年発表した「マドンナの真実」でマドンナのサクセスストーリーの裏側を暴き、全世界にセンセーションを巻き起こした人物である。その彼が第2弾として発表したのがこの「ミック・ジャガーの真実」なのだ。

イギリスの中産階級に生まれ、12才の頃初めて聴いたリズム&ブルースで音楽の洗礼を受けた優等生の少年マイケル・フィリップ・ジャガー。約30年以上もロック界に君臨し続けているこのモンスターは、常に体制に反抗してきた。

アンダーセンはマドンナの評伝と同様、今回も莫大な時間をかけて取材とリサーチを繰り返した。しかしミック本人のコメントとなると、これもマドンナと同様、断固拒否されたらしい。どうも彼の評伝は本人たちにとってはただただ迷惑な代物らしい。それにもメゲずに、周囲の証言だけでここまでものを書きあげてしまうのだからあっぱれといえはあっぱれだ。

苦勞の甲斐あつてか、生い立ちから現在までの姿を克明に追ったその内容はなかなかショッキングだ。中でも執拗に触れているのがミックの奔放な性生活に關してで、無名時代の女性関係に始まりバンド結成後のグループ・ビー・ビー（この中には無名の三流ダンサーだったマドンナも名を連ねていて、当時の彼女は、ミックの手をかりて世に出よう」とやっさになつていったとか、そして一方ではデビッド・ボウイやエリック・クラプトンともベッドを共にしていたというベイ・セクシャルな一面も赤裸々に書かれている。と同時にジョン・レノンとの交友や、マイケル・ジャクソンがミックに対して非常にライバル意識を燃やしていたなど、様々な有名な人たちの素顔を垣間見られるエピソードがふんだんにあり、ファンでなくとも非常に興味深い。

気にかかるのは、ミックのまわりを常に人の死が取り巻いていることである。有名なオルタモントの悲劇、ブライアン・ジョーンズの謎の水死、そしてミック自身にもつきまとう暗殺の影。カリスマとは、一般人には届かない世間の凡庸さを逸脱したところにいる存在である。実際これまでに多くのアー

ティストが、刹那的世界へ身を投じることでその溢れる才能を昇華していった。だが彼らのはほとんどが、その代償として既にこの世にいない事実を思うと、ミック・ジャガーという男の怪物ぶりは相当のリアリティをもってわれわれに迫ってくる。世代の流れとともに1度はアンチ・ドラッグの姿勢を見せたこともあったが、本当の姿がそんなものでないことは、ファンの目には明らかであつたはずだ。たとえローリング・ストーンズでなくとも彼は成功したであらうし、今後ストーンズを離れたところでも、彼は走り続けるに違いない。ドラッグ、セックス、そしてロックンロール。今年50才を迎えた水逆の悪ガキは、これからも自分中心に地球を回してゆくだろう。天才たちが死への階段をいき急いでまで求めたものを、ミックは今もお生きて追い続けているのだ。不良のビーターバンは、本書の中のコメントでこう言っている。「イギリスが自慢できるものがふたつある。女王様、そしておれだ。」

“Jagger Unauthorized” by Christopher Andersen

ミック・ジャガーの真実  
クリストファー・アンダーセン著  
小沢穂穂訳  
福武書店 / 2,600円

TOWER RECORDS

これからは

セール頻発  
どうする!!  
どうする!!

By 永岡正直 (原野店店長)



●恒例●

全直輸入盤  
**¥200  
OFF  
SALE**

12/2 (THU) ~ 12/8 (WED)

VIDEOも¥200オフ、  
¥4000以上の商品は10%オフ。  
国内盤で発売後  
2年たった商品も¥200オフ。

12シングル、CDシングルは¥100オフ。  
ディスカウント商品はセール対象外となります。

HEAVY & HUMONGOUS  
**BLUES SALE**

11/18 (THU) ~ 11/28 (SUN)

ブルースの

直輸入CD・VIDEO全商品が¥200オフ!

ディスカウント商品、12シングル、  
CDシングルはセール対象外となります。

東芝EMI

バジェット・プライス・キャンペーン  
11/18 (THU) ~ 12/1 (WED)

期間中、東芝EMIの国内盤カタログ商品を3  
枚以上お買い上げのお客様に先着順で、タワ  
ーオリジナル・サンブラーCDをプレゼント。

京都店

河原町ビブレ6F Tel. 075-212-7058  
OPEN: A.M. 11:00 - P.M. 8:00

大阪店

心齋橋アメリカ村 Tel. 06-211-2997  
OPEN: A.M. 11:00 - P.M. 9:00 (土日のみ10:00 OPEN)

**TOWER  
RECORDS**

L.A. CHICAGO BOSTON NEW YORK LONDON  
SAPPORO SENDAI NIIGATA CHIBA  
IKEBUKURO SHINJUKU SHIBUYA HACHIOJI  
YOKOHAMA KAWASAKI NAGOYA  
KYOTO OSAKA HIMEJI HIROSHIMA

WATCH  
the  
NEWS



[In the waiting room] © Nan Goldin



[In bed, Central Park] © Nan Goldin

ナンゴールディング写真展

YMOのNY生活に密着。  
女性写真家がとらえた3人とは。

80年代のニューヨーク。そこに生きる若者たちの姿を赤裸々に描き出した写真集「THE BALLAD OF SEXUAL DEPENDENCY」で一躍脚光を浴びた女流写真家、ナン・ゴールドイン。

1953年生まれ、写真を撮り始めたのは70年代後半からだ。その感性の鋭さと女性ならではの視点が注目を浴び、現在も「THE BALLAD OF〜」はロングセラーを続けている。その他にも写真誌「デジャ・ヴュ」での特集や、朝日出版社の「NUDE」、また、東京都写真美術館で行なわれた現代に活躍する女性写真家の作品ばかりを集めての展覧会でも絶賛された。そして昨年発表された「THE OTHER SIDE」は、彼女の最新の写真集であり、こちらも非常に好評である。この現在最も期待されているフォトグラファーである彼女の、ユニークな展覧会が京都で行なわれる。今回彼女の被写体となるのは、あのYMO。そう、イエロー・マジック・オーケストラだ。今年は10年振りに3人が集まってニュー・アルバム「テクノ

ドン」を発表。東京とニューヨークをスタジオとして、ウィリアム・バロウズやウィリアム・ギブソンも参加したその作品は、高度なアンビエント・ミュージックにもかかわらず発表とともに一大センセーションを巻き起こしている。そんな彼ら3人のニューヨーク生活にゴールドインがカメラを向けた写真展だ。もちろん関西では初公開。当日は、作品、写真集、YMO関連の書籍やCD、ビデオなども販売される予定である。

① 12月9日(木)~12月26日(日)

11:00AM~8:00PM(水休)

② 京都市中京区三条通富小路北西角

SACRAビル2F

③ 無料

④ ファイル 075-211-5353



1990年初演。ひとりの浮浪者の人生を通して、ダーウィンの進化論と東洋の輪廻思想が交差する。91年、92年イギリス公演で絶賛、「伝統と現代文化の融合」と評された。彼らの代表作である。ダンス・シーンは圧巻だ。

「ダーウィンの見た悪夢」



1991年初演。恋愛とは宇宙のエネルギー法則の一環であり、どこまでもエゴイストティックなドラマである。ひとりの男の成長と歴史という形を借りた、シニカルでパワフルな恋愛論。初恋の痛みと輝きがここに今、蘇る。

「非ユークリッド恋愛学」



1992年初演。人間の成長と老いをテーマに、生命と宇宙のリズムを描く。上海太郎の一人マイムでは、父と娘の交流、娘の成長、そして父親の孤独を表現する。すべての生きものが繰り返す生命のサイクルを観る者も体験する。

「DANCE」

# 上海太郎 舞踏公司 三部作

人間にとって、言葉というものの必要性は果たしてどこまで削除し得るものだろうか。言語の違いや習慣の違いを超越して、ひとはどこまで、対人間として互いの感情や意図を相手に伝えることが可能なのであろうか。上海太郎舞踏公司においては、今まで幾度もその試みが繰り返されてきた。1977年に劇団そとばこまちに入団。役者、振り付け、ダンサー、パントマイマーとして活躍を続けた上海太郎。1985年にはそとばこまち3代目座長に就任し、その3年後には「五線譜のうへの国」を最後にそとばを退団する。そして1989年、上海太郎舞踏公司を結成。ここから彼の、新境地へ向かっての旅が始まったのである。第1回公演「破鏡重円」で人間のこころの距離を視覚化してみせたように、その後も実験といえる野心的な試みで活動を広げ、海外でも常に高い評価を受けている。そして今回、彼らの壮大な「思いの旅」ともいえる代表的三部作が、3カ月連続で京都府立府民アルティホールで公演される。宇宙というスケールの大きなステージで、人間の存在をシミュレーションしてゆく内面的世界。呼吸する舞台を、それぞれが自分のリズムで感じとってみてほしい。

帰国第一弾。また新しいドラマが始まる。

公演日程

- ①「ダーウィンの見た悪夢」  
11月27日(土)・28日(日)
  - ②「非ユークリッド恋愛学」  
12月18日(土)・19日(日)
  - ③「DANCE」  
94年1月15日(土)・16日(日)
- ※各公演共、土曜日は3時と7時、日曜日は3時のみの公演  
 (内京都府立府民ホール アルティ  
 (地下鉄今出川駅下車徒歩5分)  
 ※当日指定席引換券(開演1時間前より指定席と引き換え)  
 前売 3,000円  
 当日 3,300円  
 3公演通し券 7,000円  
 (チケットぴあ・チケットセゾン・リコモーションPG)  
 京都府立府民ホール アルティ  
 075・441・1414



# 京都ムラムラ

WATCH  
the  
NEWMO

WATCH  
the  
NEWMO

WATCH  
the  
NEWMO

## 趙季平作品コンサート&上映会

ここ数年の間で、映画界においての注目すべきできごとといえば中国映画の急激な進歩ではないだろうか。84年に陳凱歌が「黄色い大地」で監督デビューしロカルノ映画祭で銀賞を獲得したのをきっかけとして、86年には張藝謀が話題作「紅いコーリャン」でベルリン映画祭グランプリを受賞。最近では92年ヴェネツィア映画祭で張藝謀の「秋菊の物語」がグランプリを、そして今年のカンヌ映画祭では陳凱歌の「さらば我が愛一霸王別姫」が同じくグランプリを獲得し、まさに中国映画に新風が吹き荒れたのは誰の目にも明らかであった。ここにこれら中国映画を変えた若きニューエイブの監督と共にひとりの男がクローズアップされている。趙季平（チャオ・チーピン）。上記の4作品のほか張藝謀の「菊豆」、「紅夢」、またはポスト第5世代監督孫周の「心の香り」など国際的に大変な評価を受けた映画の音楽はすべてが彼の手によるものである。この中国出身の作曲家は、西洋音楽の技法を使いながら、中国古来の民族的なメロディを造り上

げるというまったく新しいアーティストである。そんな「今」の中国を語るには外せない彼にスポットをあてた趙季平作品コンサート&映画上映会「京都ムラムラ」と銘打った一大イベントが行なわれる。映画上映として「心の香り」、その他趙季平自身のトーク、そして彼のユニットによるコンサートも用意されている。中国ならずとも、映画というジャンルに多大な影響と革命をもたらした趙季平の世界。中国映画が未知のものである人々にさえ、共感と感動を起こさせることは確かだ。

① 12月9日(木)

18:00開場 18:30開演

◇ 京都・先斗町歌舞練場

◎ 全席指定

前売 5,000円

当日 5,500円

(チケットぴあ・チケットセゾン・アクティブKEI)

☎ アクティブKEI ☎ 075・255・6586

〈主催〉京都ムラムラ実行委員会  
エフエム京都



# 渡辺力作品展

しあわせ気分ただよう、イラストの世界。



◎ 無料  
☎ ファイル 075・211・5353

SACRAビル 2F

◇ 京都市中京区三条富小路北西角

② 開催中 11月28日(日)まで

11:00AM ~ 8:00PM (水休)

③ 無料

④ 無料

⑤ 無料

⑥ 無料

⑦ 無料

⑧ 無料

⑨ 無料

⑩ 無料

⑪ 無料

⑫ 無料

⑬ 無料

⑭ 無料

⑮ 無料

⑯ 無料

⑰ 無料

⑱ 無料

⑲ 無料

⑳ 無料

㉑ 無料

㉒ 無料

㉓ 無料

㉔ 無料

㉕ 無料